

## 「第10回食品産業もったいない大賞」 応募申込書 ①

応募名称 取組内容が読み取れるタイトルを記載してください。	「もったいない」で繋がるフードバンク活動		
取組開始 応募取組を開始した時期を記載してください。	<input type="checkbox"/> 昭和	<input checked="" type="checkbox"/> 平成	<input type="checkbox"/> 令和 28年 4月 頃 日
取組内容を把握できるWebのURL	http:// <a href="http://WWW.ofsi.or.jp">WWW.ofsi.or.jp</a>		
会社・事業場の業務内容 簡単に記載してください。	企業、個人などから託された食品と食品を求める事業所・施設等を結ぶマッチング活動(フードバンク)を平成20年から実施しています。		
社名、事業所名 プレス発表の際に記載します。正確に記載してください。	フリガナ	カブシキカイシャ ショクヒントウリュウツウゴウリカソクシンキョウ	
	株式会社	食品等流通合理化促進機構	
代表者役職・氏名	代表	●● ●●	
会社・事業場所在地 都道府県から記載してください。	フリガナ	トウキョウトチヨダクイワモトチョウ	
	〒	101-0032	
	東京都千代田区岩本町3-4-5 第1東ビル6階		
担当者及び連絡先			
所属部署・役職	業務部	氏名	杉本 敏幸
E-mailアドレス	電話番号		ファックス番号
<a href="mailto:t.sugimoto@ofsi.or.jp">t.sugimoto@ofsi.or.jp</a>	03-5809-2176		03-5809-2183
コンプライアンスに関する確認 必ずチェックを入れて下さい	<input checked="" type="checkbox"/> 法令違反の事実はない		
添付資料(提出書類にチェックを入れてください) もったいない大賞の応募には 本紙応募申込書①、②-1、②-2、 写真(取組内容が分かるもの)が必須です。	<input checked="" type="checkbox"/> 応募申込書 ①	<input checked="" type="checkbox"/> 応募申込書②-1	<input checked="" type="checkbox"/> 応募申込書②-2
	<input checked="" type="checkbox"/> 写真	<input type="checkbox"/> 取組内容関係資料	<input type="checkbox"/> 会社概要等
業種・業態・活動 分類 該当する全ての 分類にチェックを 入れて下さい	<input type="checkbox"/> 1. 農林水産業者	<input type="checkbox"/> 2. 食品製造業者	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 食品卸売(仲卸)業者
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 外食・中食事業者	<input type="checkbox"/> 6. 食品輸出入業者	<input type="checkbox"/> 7. 食品関連事業者(電気 施設 装置 容器包装 輸配送等)
	<input type="checkbox"/> 8. 地方自治体	<input type="checkbox"/> 9. 大学・専門学校・高校等	<input type="checkbox"/> 10. フードバンク
	<input type="checkbox"/> 12. 個人	<input type="checkbox"/> 13. 上記以外その他 ( )	<input type="checkbox"/> 11. リサイクル事業者
もったいない大賞をどこでお知りになりましたか。(複数回答可)			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. もったいない大賞事務局(食流機構)からのDM	<input type="checkbox"/> 2. 農林水産省・農政局からの紹介	<input type="checkbox"/> 3. 都道府県(公共団体)からの紹介	<input type="checkbox"/> 4. 商工会
<input type="checkbox"/> 5. インターネット	<input type="checkbox"/> 6. 商工会議所	<input type="checkbox"/> 7. 食品産業協議会	<input type="checkbox"/> 8. 農林水産企業環境対策協議会
<input type="checkbox"/> 9. 食品リサイクル再生利用連絡会	<input type="checkbox"/> 10. 所属する団体からの案内 ( )	<input type="checkbox"/> 11. その他 ( )	
他薦の場合は下記に推薦者を記載してください。			
推薦者	会社等名		
	所在地		
	代表者役職	代表者氏名	
	電話番号	E-mail	

※ 記入枠は適宜調整の上、記載してください。

記入シートは3枚あります。(下部シート申込書①、申込書②-1、申込書②-2)

# 「第10回食品産業もったいない大賞」 応募申込書 ②-1

## 1. 該当項目に○を付けてください。複数回答可(各項目の詳細は募集要領参照)

項目			
<input type="checkbox"/> 1. エネルギーの効率化	<input type="checkbox"/> 2. 余剰製品・商品の削	<input type="checkbox"/> 3. 照明、空調等	<input type="checkbox"/> 4. 食品の消費と有効活
<input type="checkbox"/> 5. 原材料などの有効活	<input type="checkbox"/> 6. 利水・排水関係	<input type="checkbox"/> 7. 容器包装・梱包材等	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 配送・物流関係
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 啓発	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 循環型社会の構築	<input type="checkbox"/> 11. その他	( )

## 2. 具体的な取組の概要

※ 取組のどのような点が優れているのか具体的に記載をしてください。

【記載例】

- ◆ ○○の製造に伴い大量に発生していた△△(産業廃棄物名)を、●●大学との協力により開発した▲▲技術により、△△(産業廃棄物名)の減量に成功した。
- ◆ 発生した△△(産業廃棄物名)をメタン発酵によりガス化し、バイオマス発電を行い、工場内に供給。二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量を削減した。
- ◆ 製造工程で発生する規格外品を、□□フードバンクに寄付し、食品ロス削減に取り組んでいる。
- ◆ 二酸化炭素等の吸収源であり、水源でもある森林を整備するとともに、次世代を担う地元の小学生等を対象とした環境講座を年2回開催している。
- ◆ 小学校の学校給食の食品残渣を校内で収集し堆肥化し校内の花壇、畑の肥料として還元し、収穫物を学校給食として利用することによりリサイクルループを体感する啓蒙活動を行っている。

※1. で複数の番号を選択した場合は、番号ごとに取組内容を記載してください。

※食品産業以外による応募の場合は、導入事例をできるだけ具体的に記載してください。

## 3. 先進性・独自性(他の取組には見られない先進的な特徴や独自の方法等)

※ 客観的な事実として示せる場合は、出典及びデータ(学会発表、特許出願、等)を示してください。

- ◆ 調査結果による場合は出典、調査対象の属性、調査期間、調査対象数等の概要を記載してください。
- ◆ 客観的事実が示せない場合は、どのような点がどのような理由で先進性・独自性があるかを記載してください。
- ◆ 試験研究段階の取組については、期待される効果や発展性について可能な限り詳細に記載してください。

※本申込書に記載が困難な場合は別葉にてお示しください。

【記載例】

- ◆ ●●大学との協力により開発した▲▲技術については、平成■■年に特許権を取得済み。
- ◆ ●●大学との協力により開発した▲▲技術については、平成■■年の△△学会で発表。
- ◆ 先進性については、●●論文データベースを利用した文献調査により確認。

## 4. 地域性(活動範囲の広さ、他社との連携、地域に密着した取組であるか等)

※ 活動による効果が及ぼす範囲を具体的に記載してください。

(例:社内、○○市、○○県、関東地区等)

- ◆ 地元原料の使用の有無。
- ◆ 地域の課題解決への貢献度。
- ◆ 同業他社等と連携している場合は単なる協力体制の事実のみを記載するのではなく相乗効果も併せて記載してください。

【記載例】

- ◆ ●●県下の食品製造業、食品卸売業、食品小売業から出る食品廃棄物を利用してエコフィードを製造しており、●●県下で唯一のエコフィード認証を取得。●●県立▲▲総合研究所や●●県立▲▲大学等と連携した地域密着型の取り組みである。

※各記入欄は調整しご記入下さい。

事務局使用欄

NO.

## 「第10回食品産業もったいない大賞」 応募申込書 ②-2

### 5. 継続性(取組の開始時期、活動年数、継続できる取組であるか等)

※ 事業継続期間を定量的に記載してください。

【記載例】

- ◆ 平成10年4月から取組を開始し、平成15年に〇〇まで規模が広がり、平成30年現在では……

### 6. 経済性(取組を実施することによる経済効果等)

※ 収益性の向上(費用と収益の関係)を定量的に記載してください。

【記載事項】

- ◆ 新規需要による売上金額等について定量的に記載ください
- ◆ 具体的に表せる場合は
  - ① 売上増加額
  - ② 製造、廃棄物処理、労働時間短縮、物流の工夫による輸送コストの削減額(削減率)を記載してください。
  - ③ 具体的な数字を記述される場合は、根拠となる資料(数字)を添付してください。

※ 具体的な数字での記載が困難な場合は、下記の例を参考に記載してください。

【記載事項】

- ◆ 取組を行ってから新規取引先の数が増加した。
- ◆ 食品廃棄物を利用したエコフィードを給餌することにより肉質が向上した。

### 7. 波及性・普及性(他の食品業者への波及効果や消費者の環境意識の醸成等)

※ 下記の例を参考に記載してください。

【記載例】

- ◆ 取組を〇〇年に開始し5年後には同業者のほぼ100%に取組が広がり、〇〇属性の廃棄物の排出量が0%になった。
- ◆ 従来、産業廃棄物として100%焼却廃棄していた〇〇を肥料化することにより新たな雇用〇〇人を生み出すことができた。
- ◆ 環境配慮型企業として認知され社会的評価の向上等による投資の増加に結びついた。
- ◆ 学校給食に積極的に地元野菜を取り入れることにより地産・地消の推進、フードマイレージの短縮化等を教えることによる教育的な効果がある。
- ◆ 〇〇町では、平成〇〇年より「〇〇フードバンク」を開設し、当初参加企業〇〇社の協力を得て開始した。現在では……
- ◆ 同業他社等への影響 等

### 8. 地球温暖化防止・省エネルギー効果(可能な限り定量的に)

【記載事項】

- ◆ 設備更新、燃料転換等によるCO2等の温室効果ガス削減量
- ◆ 設備更新、燃料転換等による電気代、ガス代等の削減額
- ◆ 社員の省エネ意識の向上 等

### 9. 過去の受賞実績及び令和4年度中に申請した(今後申請する)表彰名

※ 過去に「食品産業もったいない大賞」で受賞された場合は、回数及び賞名を記載してください。

【記載例】

- ◆ 第1回食品産業もったいない大賞(主催〇〇〇〇) 農林水産大臣賞受賞

※各記入欄は調整しご記入下さい。